

A 散歩道・Aコース
 <四ッ谷駅→二七通り→番町学園通り>

ウォーキング・データ
 距離：2.7km 3375歩（歩幅80cm）
 所要時間：50分（ゆっくり歩いて）

※くわしい人物紹介は、WEBサイト「麹町界隈わがまち人物館」で！
 地図外



内田百閒

この散歩コースは、JR四ッ谷駅からスタート→します。番町口を出て左手に江戸城36門の一つ四谷御門の石垣が目に入ります。そのお隣が、2009年に創立100周年を迎えた名門女子校の**雙葉学園**です。土手沿いから五番町交差点への道付近に、夏目漱石門下で小説家・随筆家の内田百閒が住んでいた場所**1**が3カ所あります。五番町の番町会館の建つ場所に移転してきたのが昭和12年。そこで東京大空襲で焼け出され隣

家の掘立て小屋**2**に3年間住み、その後、六番町に自宅**3**を新築し亡くなるまでの23年間をいわゆる三疊御殿で暮したのです。雙葉の校舎の隣は、戦前外務大臣を務めた**松岡洋右****4**の旧居地。左手に折れる坂道は**三年坂**。その手前に幕末に軍艦奉行だった**木村芥舟****5**、さらに勘定奉行だった**川路聖謨****6**の終焉の地がありました。五番町交差点から市ヶ谷駅に下りる坂を**新坂**といいます。明治30年代に新しく造られました。その坂下左手あたりに明治の風刺画家の**ジョルジュ・ピゴ****7**が住んでいました。新感覚派の小説家として人気の高い**吉行淳之介****8**の育った家もありました。

交差点を直進すると左手に折れるのが帯坂。その向側のマンションの建つあたりに、かつて番町皿屋敷のモデルとされた旗本屋敷があったと古くからいわれています。この付近に直木賞でその名を残す**直木三十五****98**の家もありました。さらに漱石門下で物理学者で随筆家の**寺田寅彦****9**が少年時代を過ごした場所があり、近くには国際的な名ソプラノと謳われた**三浦環****10**の家もありました。四ツ辻の先角は、日本海海戦で名を馳せた**東郷平八郎****11**が半世紀近く住んでいた屋敷跡の**東郷元帥記念公園**です。その先は勝海舟とともに江戸無血開城を成功させた幕臣**大久保一翁****12**の家があり、**東京家政学院**の敷地内は歌誌「**明星**」創刊の地**13**と**大橋佐平****14**が建てた「**大橋図書館**」があった場所でもあります。大妻通りに出る手前角は「**群書類従**」などを編んだ盲目の国学者**堀保己一**の**和学講談所****15**があった場所。その先を直進すると、小説家**永井荷風****16**が青春時代を過ごした場所です。



東郷平八郎



国木田独歩

大妻通りを御厩谷坂を下り大妻の体育館のあるあたりは、明治の知識人たちが集ったという**一番町教会****17**があった場所。**大妻女子大学**の正門前に**佐野の桜****18**を説明した表示板があります。佐野とは田沼意次の子を刃傷した旗本の**佐野政言**のこと。この桜は、とくに美しいことで有名だったとか。番町学園通りを右に曲がったあたりは、「**武蔵野**」で有名な**国木田独歩****19**が住み、**坪内逍遙****20**が寄宿していた場所です。先に進むと明治36年創立の**九段小学校**です。関東大震災後に建てられた校舎はいまもって健在。その近くに女流作家の**網野菊****21**が住んでいました。このあたりから日本テレビ通りまで、かつては大臣通りと呼ばれていた地域。明治の論客だった**島田三郎****22**、松竹の**大谷竹次郎****23**、ヴァイオリニストの草分け**安藤幸****24**、首相を務めた**若槻礼次郎****25**、南画の巨匠**小室翠雲**といった人たちが住んでいたのです。また東亜ビルの場所は**町奉行**だった**井上信濃守清直****99**の屋敷跡でした。



水上瀧太郎

通りを越えて左手は、国会議事堂建設に半生を捧げた建築家の**大熊喜邦**の家だった場所。右手には「**三田文学**」などで活躍した小説家**水上瀧太郎****26**が住んでいました。明治4年創立の**番町小学校**は、江戸時代は小幡藩の上屋敷跡でした。斜向いの一角はペリー来航の折に交渉役を務めた外国奉行**井戸覚弘****27**の屋敷跡で、明治以降はアララギの歌人の**島木赤彦****28**、洋画家の**鳥海青児**、戦後は歌舞伎の長老だった**2世中村又五郎**などが住んでいました。番町小学校の向側ブロックには、長唄の巨星**吉住慈恭****29**や**2世市川猿之助**(**猿翁**)**30**一家が住んでいた場所です。幼稚園の近くには、アナキスト**大杉栄****31**、「**新諸国物語**」で有名な劇作家**北村寿夫****32**とロシア文学者**神西清**、戦後は若き日の**若山富三郎**、**勝新太郎**兄弟が一時住んでいました。早稲田塾の場所には、戦前、山月房という高級アパートがあり、シャンソンとバレエの評論家だった**蘆原英了****36**が住んでいました。